

若者に贈る日台関係史

山浦寿さん 研究書刊行

元高校教諭で前信濃史学会会長の山浦寿さん(75)

松本市鎌田2はこのほど、研究書『日本の高校生や中学生が知っておきたい

日本・台湾関係史』日台

両国の歴史教科書の比較を中心にく』を自费出版した。行き来する観光客数や経済的関係が好調な日本と

台湾にあつて、より良好な関係を築くための一助となりそうな、双方の歴史認識などをひもといっている。

山浦さんは「はじめに」

の中などで、日本が台湾を統治していた時期があつたにもかかわらず、それに触れて高校などでしっかり学ぶことがないと指摘する。

そのような点を踏まえ、台湾との交流が順調に進展しているこの時に、両国の関係史を冷静な目で学ぶことは「日本人にとってとりわけ大切」と述べる。

「日本の植民地支配に台湾の人々はどう対抗したか」「台湾の歴史教科書は『日本』をどう扱ってきたか」などの全6章で成る。

山浦さんは「両国がさらに友好を深め、対等につきあつていくため、若者に認識を深めてほしい」と読みどころを話す。

B5判、94頁、1000円

(送料込み)で販売する。問い合わせは山浦さん(☎0

900・10038・02267)

。(中村弘明)



新著を持つ山浦さん